

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
4年ぶりに2月3日の立春ですね。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1. 食料・農業・農村基本法どう変わる？

■ 1 ■ 食料・農業・農村基本法どう変わる？

2024年6月「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正されました。それを受けて開催された、東京大学大学院農学生命科学研究科教授 安藤光義さんの講演会から一部ご紹介します。

“農業の憲法”とも呼ばれる「農業基本法」は、1961年に施行されました。この法律には、高度経済成長の下での農工間所得格差を問題と認識し、自立経営の育成を目標に政策体系を構築するというしっかりとした目標がありました。この農業基本法が全面改正される形で施行されたのが、1999年の「食料・農業・農村基本法」です。世界中で自由貿易が促進されるなか、“農業の持続的な発展と“農村の振興”を軸に、“食料の安定供給の確保”と“多面的機能の発揮”を実現していこうという基本理念で、食料自給率の目標が盛り込まれたのが特徴でした。そして今回、この「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに大幅改正された、というのがこれまでの経緯です。今回の大きな変更点は、基本理念のひとつであった“食料の安定供給の確保”が“食料安全保障の確保”に書き換えられたことと、“環境と調和のとれた食料システムの確立”が追加されたことです。

今回の改正の目玉は食料安全保障の追加ですが、全体の中でこの領域だけが不自然に突出しています。また、中身を見てみると“食料安全保障”の名に似つかわしくない項目も並んでいます。例えば、「海外への輸出を図ることで（中略）食料の供給能力の維持が図られなければならない」という項目は、一見真っ当に思

えませんが、輸出品目として想定されているのはアルコール飲料、調味料、清涼飲料水などの加工食品中心で、主食を中心とした食料安全保障に直結するとは思えません。また、「食料の合理的な価格の形成」が必要という項目がありますが、安藤さんは「農家が再生産できる価格ではなく、食料システムにとって合理的な価格とされている点が問題だ」と指摘します。

この法改正の3年前にあたる2021年、「みどりの食料システム戦略」が策定されました。2050年までに有機農業の取り組み面積を25%、100万haに拡大するという目標を掲げるこの戦略からすれば、当然「食料・農業・農村基本法」でも、有機農業が農業政策の主役になるはずでした。しかし今回の改正において、有機農業は環境政策の中に入れられており、農業政策の本丸には絡まない位置づけとなっています。安藤さんは、「環境政策に吸収されてしまうことで、農業のあり方の見直しを通じた社会の抜本的な改革のチャンスを失ってしまったのではないかと悔しがります。

改正法全体を通して安藤さんが感じているのは、輸出ありきの方針と、全体の目標がなく項目の羅列に終始してしまっているバラバラ感です。「“上からの技術革新の推進”によって、大規模な法人経営を中心とした農業の産業化を進めようとする思惑が強く見えます」と安藤さん。本来、この法の主役は農家だったが、「食料システム」や「生態系サービス」のような抽象的なものにとって代わられているようです。

安藤さんはそれに対して、「“下からの対抗軸の形成”を目指して、農村の現場からボトムアップの動きを育てていきませんか」と提案します。「有機農業を中心とした生産を、学校給食などで地元社会が支え、再生可能エネルギーを含めた循環型の地域経済を構築していく。それによってようやく、改正基本法の5つの基本理念は一つにまとまって機能するのではないのでしょうか」と安藤さん。「農業が大変な状況にあるなかで大切なのは、農業は重要で尊い産業なのだと人々に認知されること、そして支え合える仲間がいることです。生協は農家への力強い応援団となるはずです」とのことばに力をもらえた講演会でした。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (田原本町西竹田 33-1)
